

日赤たいむ

謹
賀
新
年



- 新年のご挨拶
- 御嶽山噴火におけるDMAT出動について
- 大規模災害訓練を終えて
- 飛騨高山高校生徒交流会
- 産婦人科・小児科からのごあんない
- 新任医師の紹介
- 栄養課おすすめ! 簡単レシピ

新年のご挨拶

高山赤十字病院
病院長 棚橋 忍



新年明けましておめでとうございます。本年も宜しくお願い致します。

昨年は当地域において8月の豪雨災害、9月の御嶽山噴火と例年になく自然災害が多かったと思います。特に9月27日午前11時52分に突如噴火した御嶽山は戦後最大の死者、行方不明者を出しました。当院はDMATを派遣し、五の池小屋に避難し

ていた登山者を救助し、3名は入院治療を受けました。当院は赤十字病院として救護班、DMATを維持しています。また、災害拠点病院に指定されており、この地域の自然災害や事故等に迅速に対応出来るように日々訓練しています。

また、地域がん診療連携拠点病院として高度医療機器、外来化学療法のための設備、患者さんやご家族との相談室を整備し、この地域のがん医療、緩和ケアの充実に努めています。昨年4月には放射線治療機器を更新し、多くの患者さんの治療に威力を発揮しています。地域の皆さんには癌関連の健診を受診し、早期発見、早期治療につなげて下さい。

当院は地域医療支援病院に指定されており、開業医、診療所と協力して、入院や高度医療機器での検査が必要な患者さんの紹介を受け、診療を行っています。今後、厚生労働省は医療の連携をさらに進める方針で、その水準は高く設定されています。当院においても更に医療連携を進めるため、昨年10月より初診時に紹介状のない患者さんが負担する保険外併用療養費を2,000円(税別)にしました。病状が安定しましたら、かかりつけ医に受診し、医療連携にご協力をお願い致します。

本年もこの地域の医療確保に全力で取り組んで参ります。地域の皆様のご支援をよろしくお願い致します。

御嶽山噴火におけるDMAT出動について



昨今の登山人気と、9月27日は朝から好天の土曜日という事もあり、山頂付近にいた多くの登山者を巻き込んだ御嶽山(長野県・岐阜県境、3,067m)の噴火。多くの死傷者を出し、戦後最悪の噴火災害となりました。これに対し、発災当日から30日までに、日本赤十字社長野県支部の救護班7班をはじめ、岐阜、愛知など7県支部から計13班が派遣されました。当院は岐阜県からの要請を受け、岐阜

DMAT(災害派遣医療チーム)が噴火当日、岐阜県側濁河温泉登山口に向けて出動しました。当院の登録DMAT隊員は11名ですが、今回は医師(浮田・山崎)、看護師(鍛冶谷・大塚)、調整員(古田)の5名が出動しました。

下山してきた被災者の救護活動を標高1,780mの登山口で行いました。また、医師・看護師の一人ずつが山岳救助隊とともに山を登り、標高2,450m(8合目)に診療スペースを確保し

て、救助され骨折など重症を負った方への応急処置を行い、県警ヘリなどで当院へ救急搬送を行いました。

今回の現場では3名のヘリ搬送を含む26名の救護活動を無事に行うことができました。



大規模災害訓練を終えて



御嶽山噴火からの1週間後の10月3日(金)当院において大規模災害訓練を行いました。参加者は職員362名、他施設やボランティア、見学者も含めると計407名と多数の方々に参加されました。

終了しました。栄養課では昨年も好評だった炊き出し訓練を行いました。

第2部は例年通り「夜間の大規模災害訓練」です。傷病者受け入れから各エリアでの活動、手術室と病棟の連携した訓練、患者さんの転棟情報伝達、ベッドコントロール訓練です。そして院内だけではなく久美愛厚生病院の岐阜DMATや当院OB・OGボランティアが参加、金沢赤十字病院や町内会等からの見学も受け入れ、参加者も規模も文字通り大規模な訓練となりました。

毎年訓練を行う度に新たな課題が浮き彫りとなります。それらに対応した災害マニュアルの改訂、次年度の訓練内容を考え、今後の災害に備えていきます。

今年8月の集中豪雨によって高山市内や広島市で甚大な被害があり、9月下旬の御嶽山噴火では当院から岐阜DMATが派遣されました。「災害は忘れた頃にやってくる」と言われますが、最近は忘れる前にやってきます。そのため赤十字職員である限り災害救護活動は常に考えておかなければなりません。

今年の訓練は2部構成で行いました。第1部は外来診療中の16時から「各科外来における紙面報告訓練」です。これは今年初めての試みで実際に受診している患者さんの人数を把握、報告用紙に記入し各階の担当者に報告する訓練です。初めて行ったとは思えないほどスムーズな報告と、担当者の状況把握の早さに驚いている間に

飛騨高山高校生徒交流会

11月6日(木)、飛騨高山高校にて「第9回飛騨高山ふるさと企業・OB&生徒交流会」が開催されました。この企画は、地元企業と生徒との交流の場として、

- ①学校の教育活動の支援。
 - ②生徒と社会との関わりを深め、生徒の職業意識を高める。
 - ③地元企業を知ってもらうことで郷土愛を育て、定着度を高め、地域発展の礎を築く。
 - ④参加団体相互の親睦と交流を深める。
- を目的として平成18年より開催されています。当日は、高山赤十字病院としての役割や、病院で働く様々なメディカルスタッフについて紹介しました。

赤十字の使命の一つである、国際救援、国内救護として、平成23年3月の東日本大震災で派遣した救護班や、今年9月の御嶽山噴火に派遣した岐阜DMATについて紹介しました。

また、車いすや医療機器等を装着し患者さん目線の疑似体験をしていただくことで、様々なメディカルスタッフが患者さんに関わっていることを知ってもらいました。こうした様々なメディカルスタッフが連携・協働し、それぞれの専門スキルを発揮することで、入院中や外来通院中の患者さんの医療

の質・生活の質(QOL)の維持・向上、人生観を尊重した医療・療養の実現をサポートしていることを伝えることに努めました。

生徒からは「いのちの為にたくさんの方が働いていることが分かった」、「医療機器の体験が楽しかった」といった好意的な感想をいただきました。



産婦人科・小児科からのごあんない

当院では、自然なお産を大切にしています。

また、すべてのお産に医師が立会います。当院は、総合病院としてのメリットも生かし、お母さんと赤ちゃんに万全の体制を整え、一人ひとりが満足できるよう、産婦人科医・小児科医が24時間体制でサポートいたしますので、安心してご相談ください。

**里帰り出産の受け入れも行っています。
お気軽にお問い合わせください。**

家庭的な雰囲気の中で、その人らしさを大切にしたい出産をめざしています。

妊婦健診では、医師と助産師が連携し、妊婦さんに優しい健診を行っています。助産外来では、助産師が主体となって、対話を中心に、妊娠生活全般の相談・アドバイスをを行い不安の軽減に努めています。お気軽にご相談ください。



出産直後のお母さんと赤ちゃん



新しい家族の誕生を喜ぶきょうだい



医師による超音波診断



助産師による超音波診断



毎日の小児科医の診察

経験豊富な助産師がお手伝いします。



授乳指導の様子



助産師による乳房マッサージ

母乳育児は良好な母子関係を築く上でとても重要です。出産後は、入院中にいつでも授乳ができるように母子同室制となっております。

お母さんの体調により新生児室でお預かりするなど、臨機応変に対応し、出生後早期から授乳がうまくできるようお手伝いいたします。

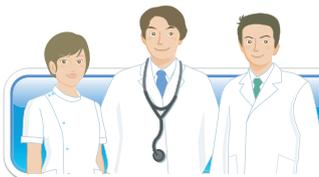
退院後も、母乳外来で卒乳までサポートします。母乳外来では、乳房のケアや育児相談を行っており、多くのお母さん方から大変好評です。

また、当院は飛騨地域周産期母子医療センターとして他院からの母体・未熟児を受け入れ、飛騨地域のへき地妊婦支援体制の中核病院として重要な役割を担っています。

お気軽にご相談ください。



お問い合わせ先: 当院 産婦人科(内線3230)



新任医師の紹介



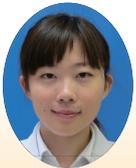
産婦人科 **島岡 竜一** (しまおか りゅういち)

長良医療センターより赴任いたしました島岡と申します。患者さん一人ひとりの生命の誕生をサポートいたします。好きなものはかわいいもの、赤ちゃん、子供です。よろしくお願いいたします。



産婦人科 **伴 真由子** (ばん まゆこ)

名古屋第一赤十字病院より来ました。新たな病院で少しでも多くのことを学ばせていただきたいと思っております。ご指導の程よろしくお願いいたします。



内科 **鷺見 聡子** (すみ さとこ)

岐阜大学医学部附属病院から来ました3年目の鷺見と申します。大学病院以外の病院は初めてですので、至らない点が多いかと思いますが、精一杯頑張りますのでよろしくお願いいたします。

栄養課おすすめ! 簡単レシピ

蓮根団子汁 (1人分116kcal)

作り方

- ①根団子の作り方
刻んだ蓮根に、すりおろした蓮根と片栗粉と小麦粉を入れ混ぜ合わせ、軽く丸める。
- ②沸騰した出し汁に①をそっと入れる。こわれやすいので弱火にする。
- ③人参と長ねぎを薄切りにして②に入れる。
- ④人参がやわらかくなったら、小さく切った豆腐を入れる。
- ⑤最後に醤油とみりんを調味し、完成。

材料(2人分)

- | | |
|-------------------|------------------|
| ●蓮根(きざみ用) ……20g | ●豆腐 ……1/3丁 |
| ●蓮根(すりおろし用) ……60g | ●出し汁 ……400cc |
| ●人参 ……20g | ●醤油・みりん ……各少々 |
| ●長ねぎ ……10g | ●片栗粉・小麦粉 ……各大さじ1 |



外来初診担当医一覧表

※担当医は都合により変更になる事がございますのでご了承ください(平成27年1月1日現在)

診療科		月	火	水	木	金
内科	1 診	下地 圭一	柴田 敏朗	中村 晃久	棚橋 忍	大西 雅也
	2 診	野々村 健太	今井 奨	白子 順子	白子 順子	高橋 佳大
	3 診	川上 剛	細江 敦典	浮田 雅人	中村 みき	西尾 優
循環器内科		渡邊 崇量	休診[手術日]	堀部 永俊	休診[手術日]	今井 一
小児科		山岸 篤至	臼井 新治	新井 隆広	山岸 篤至	川尻 美和
産婦人科		脇田 勝次	成川 希	脇田 勝次	脇田 勝次	石川 梨佳
外科		井川 愛子	休診[手術日]	佐野 文	奇数週:佐野文/井川愛子 偶数週:白子隆志	白子 隆志
整形外科		前田 雅人	山本 孝敏	休診[手術日]	喜久生 健太	小池 玲
脳神経外科		加藤 雅康	休診[手術日]	野中 裕康	竹中 勝信	交替制 休診[手術日]
泌尿器科		菅原 崇	柚原 一哉	前川 由佳	休診[手術日]	交替制
耳鼻咽喉科		安藤 健一	安藤 健一	安藤 健一	休診[手術日]	安藤 健一
		内藤 裕介	内藤 裕介	内藤 裕介		内藤 裕介
		高島 隆	高島 隆	高島 隆		高島 隆
眼科		桑山 創一郎	桑山 創一郎	前田 美保子	桑山 創一郎	桑山 創一郎
		高井 祐輔	高井 祐輔		高井 祐輔	高井 祐輔
皮膚科		市橋 直樹	市橋 直樹	市橋 直樹	市橋 直樹	市橋 直樹
歯科口腔外科		今井 努	大久保 恒正	大久保 恒正 休診[外来手術日]	今井 努	休診[手術日]
放射線科		休診	休診	休診	休診	予約

※再診は予約制ですので、ご了承ください

外来のご案内

診療受付時間 午前8:00から午前11:00まで

診療開始時間 午前9:00

休診日 土曜、日曜、祝祭日、年末年始(12月29日～1月3日)、
日本赤十字社創立記念日(5月1日)
※ただし、救急の場合は24時間対応しております。

ニッセキイン ヨヤク

●電話予約センター ☎0120-214-489 受付時間:午前8:00から午後4:00まで
※ただし初診の電話予約には紹介状が必要です。紹介状のない方は、当日受付窓口へお越し下さい。

初診の方 診察申込票に必要事項をご記入の上保険証、紹介状等を添えて新患者受付へお出し下さい。

予約の方 予約票の時間にしがって直接受診科へお越し下さい。

受診の際は必ず保険証のご提示をお願いします。

「わらび会」入会のご案内

高山赤十字病院は、昭和60年12月に糖尿病患者さんの患者会「わらび会」を発足しました。患者さんの糖尿病の治療・予防に対する知識の普及と、福祉の増進・相互の親睦を図ることを目的に活動しています。

- 活動: 患者会総会、小旅行、語る会、親睦会、調理講習会、講演会
(活動時は当院の医師、看護師、栄養士が参加します。)
- 会費: 年間3,000円(糖尿病情報誌「さかえ」購読料含む)

なお、会員は当院通院中の患者さんに限らせていただいております。入会の申し込みや詳しく聞いてみたいと思われる方は、健康相談室のスタッフにお問い合わせ下さい。



日本赤十字社

平成27年新春号

発行 行:高山赤十字病院 岐阜県高山市天満町3-11
発行責任者:広報委員会

TEL/0577-32-1111(代) FAX/0577-34-4155

URL: http://www.takayama.jrc.or.jp/